



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

未来を見据えた教育の実現のために

新年度の取組：平成31年度 市川市教育行政運営方針

2月18日(月)に開会した2月市議会定例会において、田中庸恵教育長が教育委員会を代表し、新年度の教育行政運営方針を表明しましたので、その概要をお知らせします。

◆教育行政運営の基本方針

♪ 第2期市川市教育振興基本計画の点検・評価結果を踏まえ、今後さらに取り組むべき施策を着実に推進します。

♪ すべての人が個性を伸ばし可能性を広げられるよう、国の教育政策の動向を踏まえ、また、未来を見据えて学びとその環境を充実させます。

◆新年度に取り組む重要な施策(主なもの)

生涯を通じた学び

- 生涯学習機会の充実
- 学校卒業後における障がい者の学びの支援
- 文化財の保護と活用



▲公民館でのパソコン講座の様子

学校における学び

- 道徳教育の充実(命を大切に教育の推進)
- 特別支援教育の推進
- 教育的支援が必要な子供への対応



▲地域の方とともに学ぶ道徳の授業の様子

教育の未来環境の整備

- 地域とともにある学校づくりの推進
- 放課後の子供の居場所づくりの推進
- 教育のICT環境整備



▲ステップモデル校プロジェクトによるタブレットを活用した学習

今後5年間の取組：第3期市川市教育振興基本計画

キーワードは「多様性」「主体性」「連携・協働」

教育委員会では、「第3期市川市教育振興基本計画」を策定しました。「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を引き続き教育理念に掲げ、目標に向けて今後5年間で取り組む施策を明らかにしています。誰もが未来社会の創り手です。自分らしく輝くために、すべての人が個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭・学校・地域の連携・協働のもと、教育の振興に努めます。【教育総務課】

学習の成果を発揮

須和田の丘フェスティバル

11月10日(土)、須和田の丘支援学校で、須和田の丘フェスティバル～輝く友情 みんな笑顔のフェスティバル～が開催されました。

当日は、オープニングセレモニーが始まる前から多くの保護者や家族が稲越校舎の体育館に集まっていました。小学部、中学部の学習発表会では、声援を受けて、手を振ったり笑顔を見せたりと嬉しそうにステージに上がります。演奏や、大きく体を動かして踊る姿に、会場全体が笑顔につつまれました。発表会が終わると、高等部の生徒が作った作業製品の頒布会です。立派なサツマイモやサトイモなどの農作物、心を込めて丁寧に作ったバッグや木工作品、植木鉢カバーなど、さまざまな作品が並びます。支援学校の児童生徒だけではなく、地域の方々も楽しそうに作業製品の購入をしていました。学習の積み重ねによる子供たちの成長が伝わってくる一日でした。



合同学習発表会

合同学習発表会が北部地区では11月24日(土)に市川市文化会館で、そして南部地区では12月1日(土)に行徳文化ホールI&Iで行われました。この発表会は、市川市内にある27校の小・中学校 知的障がい特別支援学級の児童生徒が、学校生活の中で積み重ねてきた学習の成果を、広く多くの方々に発表するという目的で行っています。

ダンスや歌、楽器演奏に劇と、子供たち一人一人が力を十分に発揮し、魅力が引き出された多彩な発表で、時がたつのを忘れるほどでした。ステージに上がる前は緊張した様子の子供たちでしたが、ステージでは躍動感あふれるダンスを披露したり、堂々とセリフを言ったりと、発表を楽しんでいる様子が伝わってきます。満席で、立って見ている保護者や友達が、大勢いる会場では、思わず微笑んだり、自然に手拍子が起きたりと感動に包まれ、発表が終わるたびに盛大な拍手が送られました。



【教育センター】

道徳教育の充実

小学校…今年度教科化 中学校…来年度教科化



◆信篤小学校 道徳授業研究会◆



1月23日(水)、信篤小学校で道徳の授業研究会が行われました。

信篤小学校では、道徳の授業を通して主体的・対話的で深い学び方を探るというテーマで研究を行っています。今年度3回目となる今回の授業研究会では、学年の先生全員で題材について協議し、児童がじっくりと考え、友達と活発に意見を交換できるような授業にするための方法を検討してきたそうです。

5年生の授業では、多くの先生が参観する中、児童はリラックスした様子で、題材の話のあらすじを確認しながら、その時の登場人物の気持ちを考え発表していきます。その後、一人一人がふせんに主人公の気持ちを書き、友達の意見と合わせて、グループ分けをして似た意見をまとめていきます。「これはこっち

のグループじゃない?」「わかった!これは別のグループに分ければいいんだよ。」など、悩みながらも班で協力して話し合いを進めていました。

発表のときに児童が「(自分の意見が)合っているかどうかわからないんだけど…」と言うと、先生は「正解、不正解はないから大丈夫だよ。」と返すなど、自分の意見を安心して発表できるあたたかい雰囲気教室に広がっていました。

授業を通して、「相手の気持ちを考えることが大切だと思う。」「その行動をとった理由を考えるといい。」という意見が出るなど、相手の立場に立って考えることの大切さに改めて気づくことができていました。



【教育センター】

◆道徳科「考え、議論する道徳」◆

これまで道徳教育の要として行われてきた「道徳の時間」は、「特別の教科 道徳」(以下「道徳科」という。)として、小学校では今年度4月から、中学校では来年度から全面实施されます。

道徳科は、子供がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目指しています。

他教科等とは異なり、知識として理解することが目的ではなく、答えが1つではない道徳的な課題について、一人一人の子供が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」です。

○「考える道徳」
主体的に自分との関わりで
道徳的価値を考える授業

○「議論する道徳」
友達の多様な感じ方、
考え方と出会い交流する授業

授業では、例えば教科書の教材を読み、道徳的な課題について子供が迷いや葛藤を感じる場面で、自分の考えを友達に伝えたり、立場の異なる考えに耳を傾けたりする学習活動を行います。こうした学習を通して、自分の感じ方や考え方をさらに深め、自分のよさに気づいたり、これからの課題や目標を見つけたりすることを目指しています。また、このような授業実践に向けた、教職員の研修会等も実施しております。

今後も道徳科や、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の中で、すべての子供が相手を思いやるあたたかい心や、自分の命も友達の命も大切にすることを育んでまいります。

【指導課】

教育功労者表彰 ～市川の教育に貢献～

教育功労者の表彰は、教育、学術または文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するものです。受賞された皆様、おめでとうございます。

【教育総務課・教育センター】

◆市川市教育委員会教育功労者

氏名	役職
齋藤 喜一	元市川博物館友の会 相談役
平谷 浩一	前市川博物館友の会 会計監査
大橋 弥生	市川市立中山小学校 校長
渡邊 晴美	市川市立菅野小学校 校長
黒木 政継	市川市立第一中学校 校長
小林 淳	市川市立第五中学校 校長
小谷野 信	市川市立南行徳中学校 校長
谷川 三郎	市川市立信篤小学校 教頭
小松 みゆき	市川市立大洲中学校 教諭
古山 政枝	市川市立須和田の丘支援学校 教諭
武藤 和彦	市川市立第二中学校 非常勤講師
渡邊 良彦	市川市立須和田の丘支援学校 非常勤講師
吉田 昭雄	市川市立幸小学校他 学校医
藤巻 日出夫	元市川市立第三中学校 学校医
河内 嘉道	市川市立柏井小学校他 学校歯科医
芦田 康行	市川市立富美浜小学校 学校薬剤師

※ 敬称略



第19回 縄文フェスティバル

五感を使って楽しもう!

市川市から大小55か所もの貝塚が見つかっていることをご存知でしょうか。考古博物館にも、国指定の史跡「堀之内貝塚」が隣接しており、春先には、多くの小学校が貝塚散策などを実施する縄文体験学習にやってきます。

その中で、特に好評を得ているのが、複製の縄文土器で作ったあさり汁の試食体験です。調味料も何も入っていないその味のおいしさに、多くの子供たちが驚いて帰っていきます。

縄文体験フェスティバルは、このあさり汁を皆さまにも味わっていただける、貴重な機会となっています。その他にも火おこし体験や勾玉づくり、弓矢を使った遊びなど、縄文時代のくらしを楽しみながら学べる催しとなっています。また、紙芝居や紋切り遊びなどの懐かしさを味わえる体験も実施していますので、ぜひこの機会にご来館いただければと思います。

日時：3月24日(日) 午前10時～午後2時

雨天時は縮小開催、荒天時は中止

場所：考古博物館・歴史博物館・堀之内貝塚公園

参加費：入場無料、事前申込不要

※一部定員のあるものや、体験費のかかるものもあります。

その他：大変混雑しますので公共交通機関をご利用ください。

【考古博物館】



「昔のくらし」来場者2万人

いつもありがとうございます!

歴史博物館で実施している「昔のくらし体験学習」に参加した児童数が、累計2万人に達したことを記念して、中国分小学校の3年生と一緒に記念セレモニーを開催しました。

この体験学習は、教科書に登場するような昔の道具に、実際に触れたり見たりすることで、より具体的な学びとなるようにというコンセプトで始まったもので、今年度で10年目を迎えました。毎年、博物館というだけで、どこか難しそうなイメージを持ってくる子供たちが多いのですが、実際に体験を終えると「楽しかった。」「昔の人ってすごいかも。」といった感想がよく聞こえてきます。今年度体験した子供たちは、どのようなことを感じたのでしょうか。ぜひご家庭での話題の1つにしてみてください。【考古博物館】



菅野小 キャリア教育講演会 地域全体で子供を育てていこう

11月27日(火)、菅野小学校にて地域の方々を講師としてお招きし、キャリア教育講演会が行われました。



電子部品の開発者、ホテル経営者、消防士、パティシエール、介護支援専門員、幼稚園教諭、サッカースクールコーチ、大学教授、病院の研究員、歯科医、理学療法士、地盤調査員の12の職種の方をお招きしました。

6年生の総合学習として、仕事についてお話を伺うことができる貴重な体験となり、児童は熱心に耳を傾けていました。

地盤調査員の方は、「なぜこの仕事に就いているのか」「仕事のやりがい」等、ICT機器や模型を用いて「地盤の強度」について説明するなど、児童に分かりやすく丁寧にご指導いただきました。

講演会開催にあたり、菅野小学校を担当する地域学校協働活動推進員である山口好子さんに講師手配のご協力をいただきました。地域と学校が連携し、子供たちの教育活動をサポートする取組を教育委員会としても推進しております。



地盤調査員の方のお話

【学校地域連携推進課】

体育館に12のブースを設置し講演会を開催

教育委員交流会

教育委員会では、教育委員が学校の現状、児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、児童生徒や教職員との交流会を行っています。今年度は合計11校で実施しました。【教育センター】

第三中 11/21



田中教育長と平田信江委員が中央委員会の活動を参観しました。生徒会役員、専門委員会の委員長、部活動の部長が集まり、リーダー研修を行いました。田中教育長と平田委員からは「活発に話し合いをしていました。」「メンバーとコミュニケーションを図ることが大切。」と感想やアドバイスがありました。

宮田小 12/13



平田信江委員と島田委員が6年生の「ゆめ・仕事びったり体験」の授業を参観しました。自分の夢の職業について話し合う班での活動に、2人の委員も参加し、児童の話を楽しみました。将来の夢をかなえるためには学校の勉強も大切だというアドバイスに、児童は納得した様子でうなずいていました。

真間小 11/7



平田史郎委員と大高委員が計画委員会の活動を参観しました。5・6年生の各学級の代表が、真間小フェスティバルの内容について話し合いました。平田史郎委員と大高委員は、「たくさん意見が出て素晴らしい話し合いでした。」「人の意見をきちんと聞いていました。」等の感想を伝えました。

信篤小 11/27



田中教育長と平田史郎委員が、3年生の授業を参観しました。3組では、特別支援学校との交流及び共同学習で、一緒に楽しめる遊びについて話し合いました。田中教育長から「特別支援学校の友達のことを考えて意見が言えていました。」「学ぶ姿勢が良く、クラスが楽しそうでした。」と感想がありました。

大野小 2/20



平田史郎委員と山元委員が、6年生の「未来のHAPPINESS発表会」の授業を参観しました。児童が職業について調べたことを発表し、友達からの質問に答えます。2人の委員は「自分が天職だと思う仕事を探してください。」「仕事に一生懸命打ち込めば、誰かを幸せにできると思います。」と児童にメッセージを送りました。

教育実践記録論文「いぶき」 発表会・表彰式

教育実践記録論文表彰式・発表会が、2月1日(金)にグリーンスタジオで行われました。昭和54年に始まった教育実践記録論文は、教育実践をまとめることで教職員の自己啓発を促すことを目的としており、今年度で40回目を迎えます。

今年度は、一般部門に10点、フレッシュ部門に7点、合計17点の応募がありました。各教科や学級経営の他、特別支援教育や食育、視聴覚教育など、子供たちへの思いが詰まった論文が、幼稚園を含めた幅広い校種から集まりました。

【教育センター】



表彰式・発表会

賞	学校名	氏名	職	分野	テーマ
最優秀	宮田小	清水 晴子	教諭	国語	クラス全員が「書けた!」と喜びを持てる作文指導 ～交流・構成・語彙を中心とした手立てを通して～
優秀	柏井小	古賀 裕喜子	栄養教諭	食育	和食文化の継承と食と健康に関する興味関心を高めるために ～「おはし名人になろう!」正しい箸の持ち方の習得をめざした取り組み～
優秀	大洲幼	大山 小百合	教諭	特別支援教育	幼稚園におけるユニバーサルデザインの視点をふまえた支援の活用 ～幼児の特性に応じた支援の実践について～
優良	塩焼小	永瀬 悟	教諭	社会	「探究して、語れる子」の育成 ～「社会的な見方・考え方」を働かせた問題解決学習 ・6年生の実践を通して～
努力	南行徳小	根本 安尉	教諭	学級経営	自己肯定感を高め合える学級経営 ～安心できる居場所づくりを目指して～
努力	二俣小	柴田 政之	教諭	算数・数学	児童の思いに寄り添う算数教育を目指して ～振り返り活動を用いた授業実践～
努力	塩焼小	加瀬谷 雄生	教諭	保健体育	逆上がり指導における場の工夫 ～「できる」を実感させる取り組み～
努力	大和田小	鈴木 雄介	教諭	社会	おもしろく、力がつく社会科授業 ～社会的な見方・考え方を生かした歴史学習の導入を通して～
努力	第四中	長崎 誠	教諭	理科	「ちばのやる気」学習が理科2を活用した 観察活動を中心とした授業実践 ～気象のしくみと天気の変化～
特別	新浜小	石原 一幸	校長	学校経営	作文交流で育む児童との絆 かしこく すこやかにノートの実践

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	富美浜小	秋葉 秀之	算数・数学	クラスみんなが参加できる算数学習を目指して ～教具や導入の工夫と交流活動の充実～
最優秀	南新浜小	小沼 光	特別支援教育	通常学級における特別な支援を要する児童の指導 お互いのよさを認め合える学級経営
優秀	鬼高小	加藤 舞	学級経営	児童の意欲を引き出す環境づくりと「わかる授業」の実践 ～教員一年目の私が取り組む「主体的・対話的で深い学び」～
優秀	鬼高小	島根 一誓	学級経営	子どもの笑顔をつくる学習指導と一人一人が活躍する学級づくりに取り組んで ～生涯児童に寄り添う教師でありたいここに記して～
優良	宮久保小	小野 貴仁	道徳	考え、議論する道徳授業を目指して ～児童の主体的な対話・話し合い活動を通して～
努力	新井小	武田 泰典	学級経営	主体的な児童の育成をめざした学級づくり ～PDCAサイクル、コーチング、インパクト等を通して～
努力	南行徳中	浦住 聡	社会	教科指導法の実践 ～インクルーシブ教育を目指して～

※同じ賞については学校番号順・五十音順で記載してあります。 ※敬称略

六中ブロック 文部科学大臣表彰 学校を核とした地域づくり

現在、大半の市立学校には、学校と地域をむすぶパイプ役である「地域学校協働活動推進員(以下「推進員」という。)が配置されています。推進員とは、学校のニーズに応じて、地域のネットワークを活用し、学習支援等のボランティアを学校に派遣する窓口として教育委員会から委嘱された地域住民です。

第六中ブロックでは、第六中学校、鬼高小学校、稲荷木小学校の推進員がチームとなって、学校の教育活動をサポートしています。

この度、第六中学校ブロックが行ってきた様々な取組が国に認められ『平成30年度地域学校協働活動の推進に係る文部科学大臣表彰』を受賞しました。



文部科学省にて表彰式に参加



田中教育長への受賞報告会

12月3日(月)に文部科学省の講堂にて表彰式が行われ、高橋祐介第六中学校長と柳澤和子推進員が出席しました。後日、ブロック内の校長先生、推進員の方々が田中庸恵教育長へ受賞の報告を行いました。この受賞をきっかけに、地域と学校がさらに連携・協働し、子供

たちのために地域総がかりでの教育につながることを期待しています。

市川市では、平成31年度から、すべての市立学校で「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を導入することにより、地域の声を学校運営に生かし、地域と学校が連携・協働する取組を推進していきます。未来の子供たちのために、学校を核とした地域づくりを行い、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。

【六中ブロックの主な取組】

- ①「コミュニティカレンダー」
学校、地域の様々な団体の年間行事を一つのカレンダーにまとめる取組
- ②「道徳支援実践講座」
地域支援者と生徒6名がグループとなり「人との関わり」について、事例を元に話し合い、いじめの未然防止を行う取組
- ③「教育活動の支援」
保育実習の引率など教育活動をサポートする取組

【学校地域連携推進課】

特別支援学級 通級指導教室 開設

市川市教育委員会では、特別支援教育推進に係る環境整備のため、市立学校に知的障がい特別支援学級を27校、自閉症・情緒障がい特別支援学級を6校、自閉症・情緒障がい通級指導教室を9校開設しております。

近年、個に応じた教育的支援のニーズの高まりにより、市内の設置バランスを考慮し、平成31年4月より下記の4校に、自閉症・情緒障がい特別支援学級及び通級指導教室を開設することになりました。

【特別支援学級(自閉症・情緒障がい)】	
市川市立東国分中学校	所在地：東国分3-5-1
【通級指導教室(自閉症・情緒障がい)】	
市川市立東国分中学校	所在地：東国分3-5-1
市川市立大洲中学校	所在地：大洲4-21-5 (東国分中学校から巡回指導)
市川市立中山小学校	所在地：中山1-1-5
市川市立鬼高小学校	所在地：鬼高2-13-5 (中山小学校から巡回指導)

※なお、開設に関するお問い合わせにつきましては義務教育課に、入級に関するご相談は教育センターまでお申し込みください。
○義務教育課 TEL 383-9261 (月~金 午前9時~午後5時)
○教育センター TEL 320-3336 (火~土 午前9時~午後5時)
【義務教育課】

「学校飼育動物管理指導」事業

「学校飼育動物管理指導」は、市川浦安地域獣医師会の先生方によって行われる「特別授業」です。今年度も市内小学校10校で実施されました。



この事業は、ウサギなどの学校で飼育されている動物の飼育方法を伝え、日頃の飼育についての質問に答えるだけでなく、獣医師という職業について学ぶ「キャリア教育」や、人と飼育動物の関わりについて学ぶ中で、豊かな心を育む「心の教育」としても行われています。

はじめに、獣医師になるためには大学で6年間学び、国家試験に合格する必要があることを知り子供たちは驚いていました。その後、「命とは何だろう?」という問いについて考え、自分なりの答えを出した後、スクリーンに映る2枚の写真から、「大切にされている動物は、そうでない動物と比べて幸せそうな表情をしている」ことに気づきます。授業後に行ったアンケートでは「生き物には、優しくあたたかく接していきたい。」「動物だけでなく、人の気持ちも考えて行動できるようになりたい。」といった感想がよせられました。そして多くの子供たちが、獣医師は動物を治療し、元気にする「やりがいのある仕事である」と感じるようになります。動物との関わりを通して子供たちが、職業や命について考える大切な機会として、本事業を今後も実施してまいります。【指導課】

子供にかかわる相談はここでできます!

- ◆**教育相談(教育センター)**
予約TEL 320-3336 火~土(午前9時~午後5時)
対象：3歳~中学校3年生
子育てや発達、教育についての悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。
- ◆**ほっとホットと訪問相談(教育センター)**
TEL 320-3362 火~金(午後0時30分~午後5時)
対象：小学校1年生~中学校3年生
不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。
自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。
- ◆**少年相談(少年センター)**
TEL 320-3340 月~金(午前9時~午後5時※木は午後7時)
メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp
対象：小学校1年生~20歳未満
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。
本人からの相談も可能です。【教育センター】



平成31年度 小・中学校の講師募集

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を募集しています。

1. 募集職種
 - (1) 県費講師：産前産後休暇等の代替等
 - ・常勤(週38時間45分勤務)
 - 給与：月額20万円程度~(経験による)交通費有
 - (2) 市費補助教員：教科の指導のサポート及び、学級担任等の補助
 - ・週2日~(最大5日35時間)(8:15~16:00)
 - 時給1,000円~(職種による)交通費有
 - ※教員免許がない方も、補助教員として勤務いただけます。
 - お気軽にご相談ください。
2. 応募方法
 - ※義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。
TEL 383-9261
3. その他
 - ※採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接のうえ決定します。
 - ※登録後、すぐに採用されるものではありません。
 - ※教員免許の期限が切れてしまっている方で、今後講師をご希望の方は、手続きをご説明しますので、お問い合わせください。【義務教育課】

